



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 8 月第 3 例会 (2013.8.27) No.3006

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

8 月は「会員増強・拡大月間」ですので、会員増強をテーマにお話します。ただしタイトルはショッキングな「日本からロータリアンがいなくなる日」としました。

わが国におけるロータリー会員数は1996(平成8)年まで順調に増加しましたが、その後減少に転じています。1996年の会員数は約13万人、2012(平成24)年は約8万8千人で、16年間に約4万人が退会しました。

一方クラブ数は1996年に2214クラブ、2012年に2292クラブとなっています。16年間で78クラブ増加しています。このことから1クラブ当たりの会員数が減少しております。2011(平成23)年の東日本大震災と福島原発事故で、さらに会員数が減ります。私は残念ながら日本のロータリーは予後不良と判断せざるを得ません。

私は、1996年から2012年の会員数の変化を基に、会員がいなくなる年次について統計分析をしてみました。最初に、1996年から2012年までの年次別会員数を元に単回帰分析をしました。Y切片は5981271、傾きは-2931.18です。1996年に対して会員数が半数になる年次は2018(平成30)年、ゼロになる年次は30年後の2040(平成52)年となります。

次に年次の自然対数をとった回帰分析をしました。自然対数を取った理由は病気発生予測や病床数の需給予測などが経験的に良く当てはまるからです。Y切片は66.19、傾きは-0.02725です。1996年に対して会員数が半数になるのは2022(平成34)年、3分の1になるのは2037(平成49)年、4分の1になるのは2048(平成60)年となります。なお対数の場合は、会員数がゼロとなることはありません。

いずれの分析方法でも会員数の減少は確実に起こります。一つだけ言い訳をさせて下さい。それは日本の将来人口推計で、2050年までに日本人口は3800万人減少するといわれています。そこで全人口に占めるロータリー会員数の割合は、今とそれほど変わらないのかもしれない。

減少の原因ですが、まずは会員の高齢化で病気・死亡で退会する者が増えたためとも考えられます。次に経済不況で時間的ゆとりがなくなったことも原因です。また企業としてロータリーの経費負担が困難になったこともあります。特にリーマンショック、東日本大震災後に問題が顕著になったと思います。

もっと深刻な原因として考えられるのは、ロータリー活動に魅力がなくなったことです。職業奉仕は理解できますが、社会奉仕や国際奉仕は、民間ボランティア団体でも活動できるからです。最後にもっと現実的な原因として、高額な会費に見合うメリットがないので退会者が増えたとするものです。

会員増強対策について考えてみます。先ほどご紹介したように、ロータリー会員がこのまま減少すると、あと30年で日本からロータリアンが消えてなくなります。抜本的な対策が必要ですが、具体的な対策については一緒に考える課題です。私は当面の対策として、ロータリークラブの原点(職業奉仕と会員相互の親睦)に戻ることが重要と考えます。

『ロータリーの友』最新号(2013年8月号)に、「ロータリー例会の食事では会話を楽しもう」という記事が出ています。「例会の楽しみは異なる職業の人たちと食事をしながらの会話。ここにロータリーの会員維持のキーワードが隠されている。」とあります。まさに至言です。

(3) ビジターの紹介

・新潟東RC幹事 水本直弥君、・新潟北RC会長 木村裕君、幹事 渡辺智彦君、新潟中央RC会長 高尾 茂典君、幹事 遠藤 龍治君、・新潟万代RC会長 佐藤 忠衛君

(旧新潟市内RC会長幹事来訪、挨拶)



大橋 亮君(新潟西RC)

(4) 新会員の紹介



(株)本間組 取締役会長
本間 剛三
親睦委員

家族は6人。長男、嫁、8月3日誕生の初孫、長女、次女。妻は8年前に亡くしました。子供達は全員東京に居ますので、私は新潟で1人生活をしております。趣味は旅行、食べ歩き、若づくり。若づくりの原点は、健康だと思っております。30代、40代に大病を患い、あちらの世をチョット覗いて来ましたので、健康である為に、できる事からいろいろチャレンジし、実践しております。20年前から毎朝6時くらいからウォーキング、2年前に膝を痛めてから、自転車も乗り始めています。最近、「アンチエイジング」と云う言葉を聞かれた事があるかと思いますが、老化をスピードダウンさせる、このような情報をいち早く収集、確認、良ければ直ちに実行。健康、そして若さを保った為に、人生を楽しく送っております。宜しくお願いします。



(株)第四銀行取締役
兼執行役員本店営業
部長 桐山 晃
会員増強委員

このたび、竹石松次様、若杉武様のご推薦を賜り、伝統ある新潟ロータリークラブに入会させて頂くこととなり、心より感謝申し上げます。6月25日付で長岡営業部から本店営業部に赴任して参りました。長岡では、3年間長岡ロータリークラブで活動をさせていただきました。各地で仕事を通じてお取引様、地域の皆様からご指導を頂き、さまざまな経験を積み重ねることが出来たことに心より感謝しております。今回、ロータリー活動の機会を頂きましたので皆様からのご指導を賜りながら、地域貢献・社会貢献を微力ながら行って参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(佐藤 紳一副委員長)
徳山 啓聖君

(6) ニコニコボックス紹介

- ・山本会長、若槻幹事 市内クラブの会長、幹事様の来訪を心から歓迎して、ニコニコしています。
- ・若杉 武君 本間、桐山両氏の入会を祝ってニコニコ。

・宇尾野 隆君 本間剛三さんの入会を祝してニコニコします。

・渡辺 洋一君 先週の金曜日、次女に長男が誕生しました。長女に次いで2人目の孫となります。無事出産したことにニコニコします。

・細野 義彦君 飲み仲間の本間剛三さんの入会を歓迎してニコニコします。

・金親 顯男薫 本間剛三さんの入会を御祝いして。

・鈴木 滋弥君 マレーシアに居る弟が一時帰国した機会に船橋の兄、横浜の姉と私の4名で数年振りで銀山平温泉で一晩の楽しい語らいが出来ましたので。(次回はいつ4名が集まれるか不安です。)

・伴 昭彦君 50年前の今日、このクラブに入会させて頂き、今日まで大変お世話になりました。もうすこし、よろしくお願い申し上げます。

(7) 幹事報告(若槻 良宏幹事 9)

・例会終了後、新会員オリエンテーションを4階「楓の間」で開催致します。

・9月より例会の座席をくじ引きをして替えます。

(8) 会員スピーチ「農と食でつくる新潟の元気」

J Aバンク新潟県信連代表理事専務 桑原隆君

(9) 本日の出席率 75.00 %

(2週間前は規定休会)

9月4日の例会予定

卓話「新潟から元気を発信！ガールズ集団による地域発信とは」

新潟ガールズ集団 Lily&Marry's

新ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rcrcrc

「新世代の為の月間」

青少年奉仕委員長 塚田 正幸

新世代とはこれからの社会を担う12歳から30歳までの若い世代の人達のことです。国際ロータリーでは古くからローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ライラ(RYLA)の各活動を通じて彼等の成長を支援します。

ローターアクトクラブ(RAC)とは18~30歳の若年成人を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブが提唱する世界的な団体です。{ローターアクトの目的}若い男女が、個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的あるいは社会的ニーズと取り組み、「親睦と奉仕活動を通じて」全世界の人々の間に、よりよい信頼関係を推進するための機会を、提供することにあるとされています(ロータリージャパンの資料より)

新潟ローターアクトクラブは昭和44年(1969年)小川種太郎会長年度に伊藤辰治ガバナー(昭和40年7月~新潟RC会長、同44年7月~ガバナー)の指導でローターアクト委員会が設けられ、翌45年田中堅太郎会長年度に大谷正雄ローターアクト委員長(現 名誉会員91歳)を始め多くの会員の情熱で、同年(1970年)9月1日創立されました。地区内で一番早い設立です。

設立当初の会員数は25名程度と多数で、RC会員企業や他の企業から参加して活発な活動を行ってました。この10数年会員数は7~10名程度ですが昨年から新規会員が増えうれしい限りです。

インターアクトクラブ(IAC)

高校に在学中の生徒または12~18歳までの者を対象として、目的は奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を青年男女に提供すること、とあります。(標準インターアクトクラブ定款より)

目標は

- 1) 建設的な指導力を養成し、自己の完成を計ること。
- 2) 他人に対する思いやりと、他人の力となる心構えを奨励し、これを実践すること。
- 3) 家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること。
- 4) 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと。
- 5) 人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらに団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であることを強調すること。
- 6) 自己能力の開発、時間管理、個人の財務管理を含む生活技能を養成すること。
- 7) すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること。
- 8) 地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること。
- 9) 国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として、進むべき道を切り開くこと。(標準インターアクトクラブ定款より)

新潟RCは昭和40年(1965年)10月30日、伊藤辰治会長年度に提唱クラブとして明訓高等学校インターアクトクラブが設立されました。会員生徒数は19名。昭和53年発行のインターアクト年報2号には新潟RC多和田泰一会長(当時)の提言や、新潟ローターアクトクラブ吉田 健(当時)の挨拶文が掲載されています。名簿には全学年36名が載っています。

48年の歴史がありますが、残念ながら暫くの間、明訓高校インターアクトクラブの会員は大幅に減少して活動も制限されています。今まで以上に学校や顧問の先生とコミュニケーションを密にして活性化をはかります。

ライラ(RYLA)とは“Rotary Youth Leadership Awards(ロータリー青少年指導者養成プログラム)”の略です。

14歳~30歳までの若い人々のためのプログラムであり、地域レベルで実施されるセミナーや指導者キャンプなどにより、ロータリアンは地元地域社会の若い人々の指導者および善良な市民としての資質を伸ばす役割を發揮できます。

当地区では毎年幾つかのクラブが主幹、副主幹として共催して行います。参加者はロータリアン(ガバナーや地区ライラ委員も出席)、ローターアクトメンバー、一般の社会人などで、1泊2日ないしは2泊3日の日程で行われます。参加者を混ぜて斑に振り分け、朝から夜までスケジュールに沿って行動します。講師による講演を聴いてグループディスカッションを行ったり、時には楽しい演奏を聴いたりもします。またキャンプファイヤーも皆で役割分担して行います。消灯後の部屋ごとの語り合いも楽しいものです。